

I. 本校の取り組みのご紹介

地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）

COCはCenter Of Communityの略称であり「地の拠点」を意味します。2013年度から始まった文部科学省の事業で、地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援する事業です。これまでに大学や高専から556件の申請があり、そのうち採択されたのは77件で、かなり狭き門になっています。採択された学校は「地（知）の拠点」としてしっかり機能するように文科省から期待され、支援されます。舞鶴高専は2013年に京都工芸繊維大学と共同申請して採択され、教育・研究・社会貢献の3分野で地（知）の拠点としての取り組みを進めています。

2014年度は、教育の分野では「地域学」「まちづくり学」「創造工学」など地域と密接に関係した授業を多数開始しました。研究の分野では地域の企業との共同研究などに取り組んでいます。社会貢献の分野では12月の時点で公開講座を33回、出前授業を24回実施しています。今年度の取り組み状況の報告会として11月6日（木）に「舞鶴高専2014年度COCフォーラム」を開催し、約100名の方にご参加いただきました。また、フォーラムでは岡西京都府副知事にも御出席いただき、京都府の進める地方創生の取り組みについてご講演いただきました。



COCフォーラム 岡西副知事のご講演（11月6日）

舞鶴高専地域テクノアカデミア

舞鶴高専と地域産業界との連携を強化するために「舞鶴高専地域テクノアカデミア」が設置され、2014年3月20日（木）に設立総会が開催されました。会長は株式会社日進製作所の錦織会長、副会長は日東精工株式会社の材木社長が就任されました。会員企業は現在21社です。10月10日（金）には会員企業による舞鶴高専の見学会が実施され、いろんな施設を紹介させていただきました。今後舞鶴高専の産学連携活動の1つの拠点として活用させていただきたいと思います。



設立総会の様子（3月20日）



会員企業による本校見学会（10月10日）

Ⅱ. 平成 26 年度の関連事業

1. 公益財団法人京都産業 21 による説明会

6月17日(火)に、公益財団法人京都産業21の担当者をお招きして、京都府での産学連携と、これによる共同研究開発資金の支援等についてお話をいただきました。同財団は、京都府内の企業を対象としたものづくり技術の向上や、地元経済で次代を担う新産業・新事業の創出を目指し、さまざまな共同研究開発グループに対して、資金支援・コーディネータを通じたマッチング・技術支援等を行っています。

説明会では参加者一同、講師のご説明に熱心に耳を傾けるとともに、説明会後の個別相談を希望する教員もおり、貴重なアドバイスをいただくことができました。



2. 特許講習会

本科4,5年生を対象とした特許講習会を7月2日(水)、7月9日(水)の2回開催しました。古谷国際特許事務所所長 弁理士 古谷榮男氏に「特許権の効力」を主なテーマとして、具体例を交えながら特許に関する基礎知識、また社会人になるに当たって最低限必要な特許の知識を学びました。また、高専出身の古谷先生から楽しく授業を受けるための「あいうの法則」や人生の先輩としてのアドバイスもあり、非常に興味深く聞き入る学生が多く、積極的に質問する学生たちの姿が見られました。



3. 第12回全国高専テクノフォーラム

全国高専テクノフォーラムは全国の高専の産学連携活動を推進している教職員が一堂に会して意見交換するための場として毎年開催されています。今年度は苫小牧高専が世話校となり、8月21日(木)に札幌市コンベンションセンターにて開催されました。

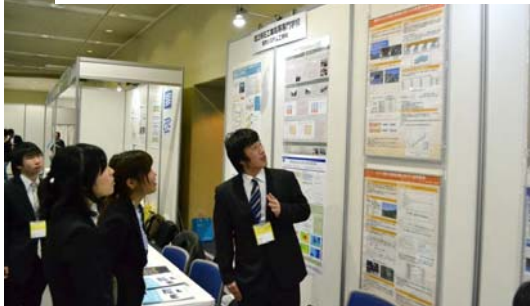
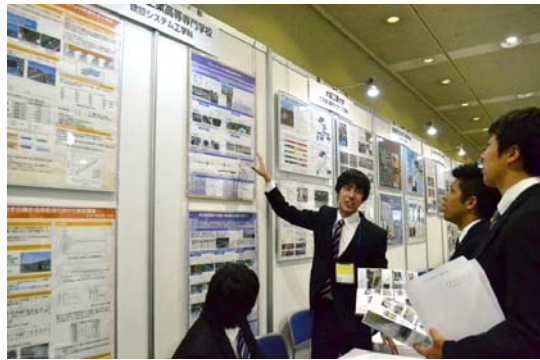
今回のテクノフォーラムでは、「未来を築く力」をテーマとして、地域にヒントを得て産学官金の関係者の交流を通して、高専が進むべき方向性を見出す機会として開催され、舞鶴高専からも3名の教員が参加しました。フォーラムの内容としては、特別講演、基調講演、産学連携活動報告、パネルディスカッション、パネル展示、ショートプレゼンテーション等のイベントが催されました。パネル展示には、高専をはじめ、企業、大学官庁等から259件もの出展があり、盛大なフォーラムとなりました。

4. 建設技術展 2014

10月29日(水)から30日(木)にかけて開催された「建設技術展2014近畿」に学校ブースを出展し、専攻科の学生が研究内容についてポスター発表を行

いました。研究内容は、2CM 木村裕太「地方自治体が管理する橋梁の振動計測による健全度評価と目視点検結果との比較」、1CM 井尻和秀「舞夢みなと大橋の振動計測による耐震性能検証の試み」、1CM 仮谷允昌「PC 桁の損傷と動特性の変化に関する研究」で、自作のパネルを用いて建設分野のプロの来場者に自分の研究内容を説明し、質問やアドバイスを頂きました。2日間の来場者数は14,839人で、舞鶴高専のブースでは研究発表の他、社会基盤メンテナンス教育センターの紹介、学校案内を行いました。また、ブースには多数のOB、OGが来訪し、近況報告や情報交換を行いました。

会場では、建設分野の最新技術の展示と、キャリア支援として建設系の各分野の就職説明会が開催され、専攻科生が積極的に参加していました。



5. ビジネス・エンカレッジ・フェア 2014

12月9日(火)、10日(水)に大阪国際会議場で行われたビジネス・エンカレッジ・フェア 2014に、本校から機械工学科 野毛宏文 准教授が出席しました。フェアには135団体の出展があり、とくに製造業関連の新しい技術が紹介されており、企業関係者中心に賑わっておりました。近畿地区7高専や大学、工業技術センターからの出展もありました。

6. 産業用ロボットが導入されました

12月19日(金) スキューズ株式会社より無償貸与でスクューズ株式会社製5軸サーボロボットアーム ASD-1100が導入されました。このロボットは、手動操縦により手先を自由に移動させることができます。また、事前に記憶させた位置まで自動的に手先を移動させる自動運転機能も備えています。機械工学科と電子制御工学科で、来年度からこのロボットを使った学生実験を行います。

[ロボットアーム ASD-1100]



[組立て]



[講習および操作説明]

Ⅲ. 技術相談

地域共同テクノセンターでは、企業等における技術的な問題を解決するため、本校の有する研究成果や技術的知識を活用して、問題解決に向けての支援、技術指導・助言を行うとともに、情報交換などにも応じており、これを「技術相談」と称しています。

問い合わせの内容は様々ですが、本年度（1月末時点）の技術相談受付件数は、以下の通りです。

平成 26 年度技術相談受付件数	
機械工学科	6 件
電気情報工学科	19 件
電子制御工学科	1 件
建設システム工学科	6 件
合計	32 件

ご相談などがございます場合には、お気軽に以下の相談窓口までお問い合わせください。

《地域共同テクノセンター 研究・技術相談窓口》

FAX : 0773-62-5558

E-mail : s-hosa@adm.maizuru-ct.ac.jp

なお、本校教職員の専門分野や、ご相談への対応が可能な領域については、本校ホームページ上に掲載されております「研究・技術シーズ」（<http://www.maizuru-ct.ac.jp/08collaboration/seeds.html>）でご紹介しておりますので、合わせてこちらをご参照ください。

Ⅳ. 社会貢献

平成 23 年の東北大震災以来、原子力発電所事故に対する防災意識が高まっています。とりわけ京都府北部地域は福井県若狭地方の関西電力高浜原子力発電所・大飯原子力発電所から 7~30km ほどの距離にあるため、地域での防災計画の策定や、地域住民への防災教育が必要とされています。こうした背景のもと、本校では出前授業・公開講座を開催し、原子力・放射線に関する知識の普及を図っています。

また近年、青少年の理科離れが進んでいるとされます。このため、本校では地元の小学校などで年間数十回の出前授業を行い、各学科の教育内容にもとづいた取り組みを紹介・実践しているところです。その内容は、例えばロボット製作やそのコンテスト、

家や橋梁の設計・製作、電気・電子にまつわる工作など多岐にわたります。

これら出前授業・公開講座への参加を通じて、地域防災への支援や、小中学生のサイエンスへの興味・理解の向上に資するとともに、参加する学生にとっても、社会貢献の重要性を認識してもらえればと考えているところです。

おかげさまで、これら事業では概ね予定人数を上回る方々にお越しいたいただき、好評を博しています。今後も本校ホームページにおいて、各種講座・授業のご案内を致しますので、是非ともご覧ください。

社会貢献事業実績（平成 26 年 12 月 31 日現在）		
事業	回数	対象
公開講座	33 回	主な対象は小中学生ですが、イベント来場者や社会人向けの内容もあり、一年間で 2000 人以上の方々に受講していただいています。
出前授業	24 回	



■ご意見ご要望をお寄せください！

地域共同テクノセンターの活動について、読者の皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。センターの活動に関するお問い合わせやご希望、本誌に掲載できる情報のご提供など、ございましたらお気軽に下記連絡先までお寄せください。

e-mail : s-hosa@adm.maizuru-ct.ac.jp（総務課）